

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所マール			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日(水) ～ 令和7年10月31日(金)			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日(水) ～ 令和7年10月31日(金)			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月8日(月)			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	グラウンドがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・柵の設置、草刈り、石の除去、オモチャの点検整備などを定期的に行っている。 ・熱中症アラートの有無によって活動を切り替えている。 ・活動後の水分補給、冷やしたタオルなどを用意するなど熱中症対策を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蚊などの害虫対策が必要。虫よけスプレー、バッチは使用しているが、それでも刺される利用者がある。 ・猛暑で外に出れる回数が減っている。さらに暑さ対策の検討をする。
2	夏休みのプログラムが充実している。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中は基本お出かけをしている。期間中のイベントを系列施設で確認し、お出かけ先が重ならないようにしている。 ・公共施設のプールを利用するなど地域資源を活用している。 	暑さ対策の為、室内のお出かけが増えた。室内のお出かけ先の充実が必要。外のお出かけ先が減った分バリエーションが減っている。
3	ダンスレッスンがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りやイベントに参加し発表を行っている。 ・ダンスを通して運動療育を充実させている。 ・長期休みにもレッスンを行い、レッスンの回数が増やすことができた。 	ダンスレッスンの日程調整。系列施設で合同レッスンができないか検討。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員の不足。	<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置は適切だが、職員の休みによっては負担が多くなる。 ・職員の入れ替わりや他業種からの職員もいるため、スキルや知識に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なミーティングを行いスキル向上をはかる。 ・研修への参加を呼びかける。
2	デイルームが分かれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋に散らばってしまうため見通しが悪くなる。 ・職員や利用者のバランスが偏ることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報共有を常に行い、適切な配置を行う。 ・間取りの再検討 ・担当職員の配置を検討。
3	父母の会がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・以前はあったが需要の低下やメンバーの固定化により休止された。 ・共働きの家庭が増え集まれる機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の形で意見交換できる方法の検討。